

金光八尾中学校・高等学校



外観

1985(昭和60)年に開校した私立学校。S特進コースなどのほか高校には美術コースもあり、希望進路や適性にあわせ、多様な学びの形を選択できる。今回、中学校・高等学校の全フロアのトイレ改修を実施した。



中学校 本館2F  
トイレ入口

中学1~3年生が利用し、教室から一番近い場所に位置しているトイレ。トイレサインの男性・女性マークは改修前から引き続き活用し、改修を機にトイレ位置がわかりやすいよう、壁面に大きく縦帯の塗装を施している。



中学校 本館2F  
女子トイレ 全体

出入口近くに全身鏡を設置し、トイレから退出する前に身だしなみチェックができるように配慮。中学校の明るいトイレ空間は、内装をシンプルで柔らかいトーンで設えている。



中学校 本館2F  
女子トイレ 洗面コーナー



衛生配慮として、非接触で使用できる自動水栓とオートソープディスペンサーを採用。生徒からは「簡単に洗える」「自動になり、触れなくてもよくなったので安心」と声が上がっている。



中学校 本館2F  
女子トイレ  
大便器ブース



大便器は、連続洗浄可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用。ウォシュレットのリモコンは、スイッチを押す力で発電する電源不要のエコリモコンを選定している。



中学校 本館2F  
男子トイレ  
小便器コーナー

シンプルなデザインと節水機能を両立した壁掛型の自動洗浄小便器を採用。使用毎の洗浄に加え、定期的に排水管を洗浄する、インターバル洗浄機能が搭載されている。



高等学校 本館2・3F  
女子トイレ 全体

高等学校のトイレは、学校生活の緊張から離れ、心落ち着ける空間を作りたいという思いから、シンプルでありながらシックに落ち着いた内装で設えている。



高等学校 本館2・3F  
女子トイレ  
大便器ブース

大便器は、連続洗浄可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用。ウォシュレットのリモコンは、スイッチを押す力で発電する電源不要のエコリモコンを選定している。



高等学校 本館2・3F  
男子トイレ 全体

洗面コーナー、小便器コーナー、大便器ブースとそれぞれ十分な空間が確保されており、休憩時間などの混雑時も生徒が使いやすいトイレ環境を整備。改修時に設置した出入口の全身鏡は、生徒から好評を得ている。



高等学校 本館2・3F  
男子トイレ  
小便器コーナー

清掃性のよい壁掛型の自動洗浄小便器を採用。小便器の足元には、尿の飛散によるにおいや汚れを軽減できるハイドロセラフロアPUを設置している。



高等学校 本館4F  
女子トイレ 洗面コーナー



衛生配慮として、非接触で使用できる自動水栓とオートソープディスペンサーを採用。また、手荷物の配慮としてライニングを設置している。



高等学校 本館4F  
女子トイレ  
大便器ブース

改修を機に、大便器はすべて洋式便器を設置。ブース扉はレスキュー仕様とし、教職員の生徒見守りのため、ブースの間仕切り壁もあえて天井まで立ち上げず、改修前と同じブース高さとしている。

# 金光八尾中学校・高等学校



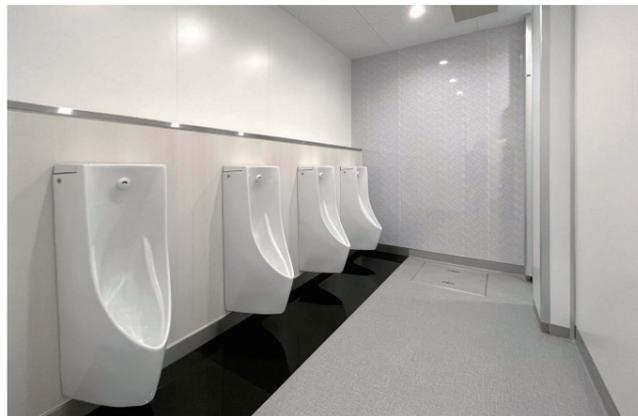
体育館前 女性トイレ 全体

体育館前の洗面コーナーには、衛生配慮として非接触で使用できる自動水栓とオートソープディスペンサーを設置。また、荷物配慮としてライニングを設置。内装はホワイトを基調とした清潔感のある空間となっている。



体育館前 女性トイレ 大便器ブース

体育館前トイレでは、プライバシー配慮として、大便器ブースの間仕切り壁を天井まで立ち上げて、個室感を高めている。大便器は連続洗浄可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用。



体育館前 男性トイレ 小便器コーナー

女性トイレと同じく、内装はホワイトを基調とした清潔感のある空間。また、小便器コーナーと大便器ブースの間隔を十分に確保し、ゆとりと利用できるトイレ空間となっている。



来客・教職員用 男性・女性トイレ

来客・教職員トイレの内装は、落ち着いた印象のシックな内装に改修。洗面コーナーには、自動水栓とオートソープディスペンサーを設置。女性トイレはLED照明付鏡を採用し、洗面空間の快適性を高めている。



中学校 改修前

前回のトイレ改修から、約15年が経過。大便器ブースには、主に和式便器が設置されていた。清掃は行き届いてはいたが、清潔感が感じられなかった。

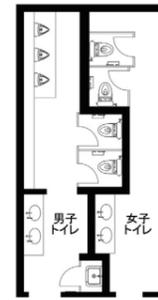


高等学校 改修前



改修前の高等学校トイレ。男子はブルーベース、女子はピンクベースと男女で異なる内装だった。また、洗面コーナーの石けんは、ネットに固形石けんを入れ、設置されていた。

本館2F 中学校トイレ

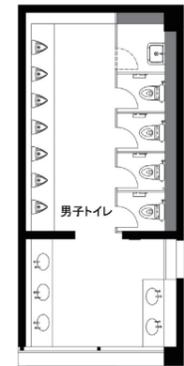


本館4F 高等学校トイレ



トイレ図面

本館2・3F 高等学校トイレ

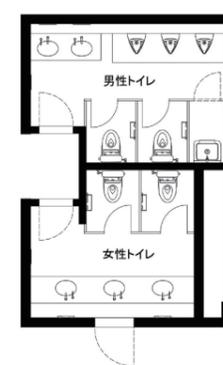


トイレ図面

体育館前トイレ



来客・教職員用トイレ



トイレ図面

## 水まわりの特長

### 改修の経緯

「金光八尾中学校・高等学校」は、1985(昭和60)年に、大阪府の東部、旧府立清友高等学校跡地に設立した私立学校である。S特進コースなどのほか、高等学校には美術コースもあり、希望進路や適性にあわせ、多様な学びの形が選択できる。閑静な住宅街にあり、生駒の山なみが望め、春には玉串川沿いの桜並木が美しい、勉学に励むには最適な環境のもと、校舎はベージュを基調とし、周囲に溶け込む。設立より40年近く経ち、施設・設備の老朽化により、順次改修を進めていく中で、「清潔感が感じられないトイレのイメージを払拭し、生徒が気持ち良く過ごせるトイレ空間を作りたい」という思いのもと、このたび中学校・高等学校の全フロアのトイレ改修を実施した。

### トイレの特長

前回のトイレ改修から約15年が経過。学校生活においてトイレ空間が快適であることは必須と捉え、改修を実施。洋式化・乾式清掃をベースとして、内装も男女別のピンク・ブルーベースから男女区別のない木目やベージュ調に改修。学校生活の緊張から離れ、心落ち着ける空間を作りたいという思いから、中学はシンプルでやさしい印象、高校はシンプルでありながらシックな印象の内装で設え、外光が届かない箇所はダウン照明を採用し、全体に明るい空間とした。洗面コーナーの設備は、衛生配慮として、非接触で使用できる自動水栓・オートソープディスペンサーを設置。生徒からは「簡単に洗える」「自動になり触れなくてもよくなったので安心」といった声が上がっている。

### 建築概要

名称	金光八尾中学校・高等学校
所在地	大阪府八尾市柏村町1-63
施主	学校法人 関西金光学園 金光八尾中学校・高等学校
設計	株式会社金山工務店
施工	株式会社金山工務店
竣工年月	(改修)2022年3月(中学校) (改修)2022年9月(高等学校)

敷地面積	16,404.96㎡
建築面積	5,210.74㎡
延床面積	11,032.36㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上4階

### おもなTOTO使用機器

- パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS498BMCK
- ウォシュレットPS(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF5534AU
- 自動洗浄小便器:UFS900WR
- ハイドロセラ・フロアPU:AB690系
- マーブライトカウンター(陶器タイプ):ML55
- 洗面器:L531
- 台付自動水栓:TENA41A
- 自動水石けん供給栓:TLK07S01J
- LED照明付鏡(化粧照明タイプ):EL80016